

平成 16 年度
くらしのみちゾーン基本計画策定、
測量及び道路詳細設計業務委託
【八戸市中心街地区】

基本計画報告書

(概要版)

平成 17 年 3 月

八 戸 市

 株式会社 協和コンサルタンツ

八戸市中心街地区

くらしのみちゾーン



～概要版 目次～

序章 計画の背景と目的	1	第4章 くらしのみちゾーン整備プランの検討	17
1. 計画の背景と目的	1	1. くらしのみちゾーンの整備イメージ	17
2. 計画の検討対象地区	1	2. 景観デザイン計画	18
3. 業務の全体構成	1	(1) 舗装デザインの検討	18
		(2) 植栽デザインの検討	19
		(3) 路上施設のデザインの検討	20
第1章 検討対象地区の概況	2	3. 整備プランの検討	21
1. 検討対象地区の概況	2	(1) 路線毎の整備プラン	21
(1) 八戸市と中心街地区の歴史	2	(2) 重点的に整備が必要な路線の抽出	31
		(3) 整備プランの事前検証	31
		(4) 重点的に整備が必要な路線の整備計画	35
第2章 対象地区の課題と整備の方向性	3	第5章 今後のみちづくりとまちづくり	39
1. 「くらしのみちゾーン」の課題	3	(1) みち活用のアイデア	39
2. 「くらしのみちゾーン」整備の方向性	3	(2) みちづくりのメニュー	40
3. 検討対象地区のゾーニング	4		
4. 路線の機能と整備イメージ	5		
第3章 総合交通マネジメントの基本方針	7		
1. 地区内及び周辺の動線計画	7		
2. 総合交通マネジメントの立案	7		
(1) 路線概要の検討	8		
(2) 交通規制の検討	10		
(3) 道路整備メニューの検討	13		
(4) 八戸らしいみちづくりの検討	15		

序章 計画の背景と目的

1. 計画の背景と目的

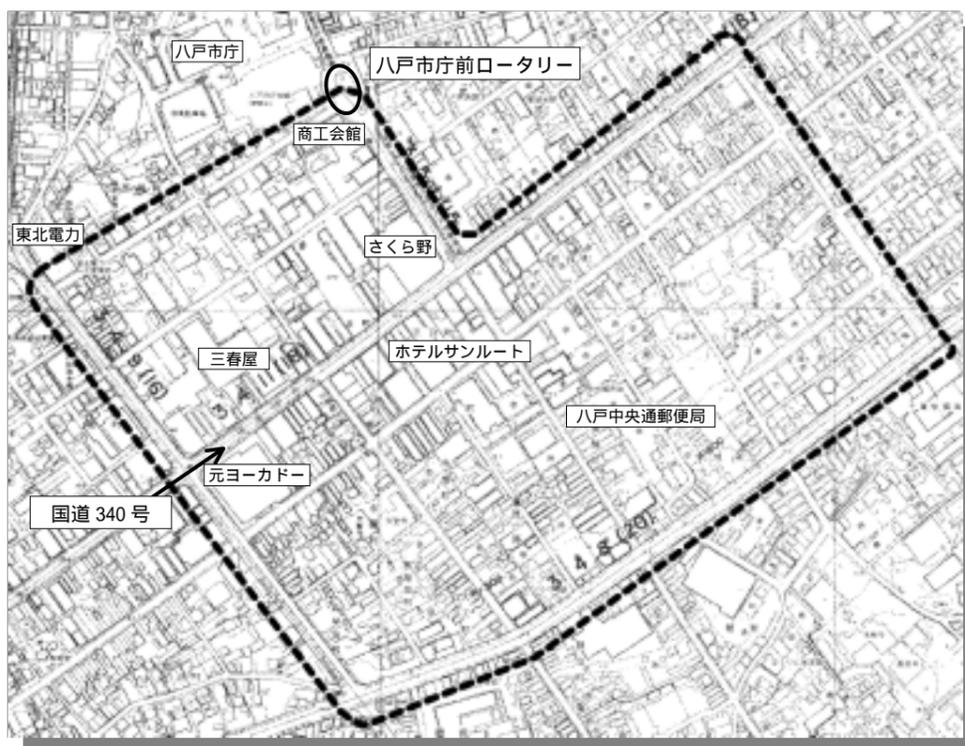
本業務は、八戸市の中心市街地及び周辺地区(約30ha、以下中心街地区とする)において、通過交通の排除により、歩行者・自転車の交通安全の確保をするとともに、地域住民との協働による道路緑化や無電柱化等を図り、質の高い生活環境の向上を目指した「**くらしのみちゾーン**」の形成を目的として、基本計画策定を実施する。

くらしのみちゾーン

外周を幹線道路に囲まれる等、まとまりのある住区や市街地の街区などにおいて、一般車両の地区内への流入を抑制して身近な道路を歩行者・自転車優先として、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図るようとする取り組み。平成14年12月から国土交通省が質の高い生活空間の創出を目的として、歩行者優先施策による安全で快適な道路空間の形成に取り組む意欲ある地区を募集し、平成15年6月30日に東北で6地区(全国42地区)が登録された。

2. 計画の検討対象地区

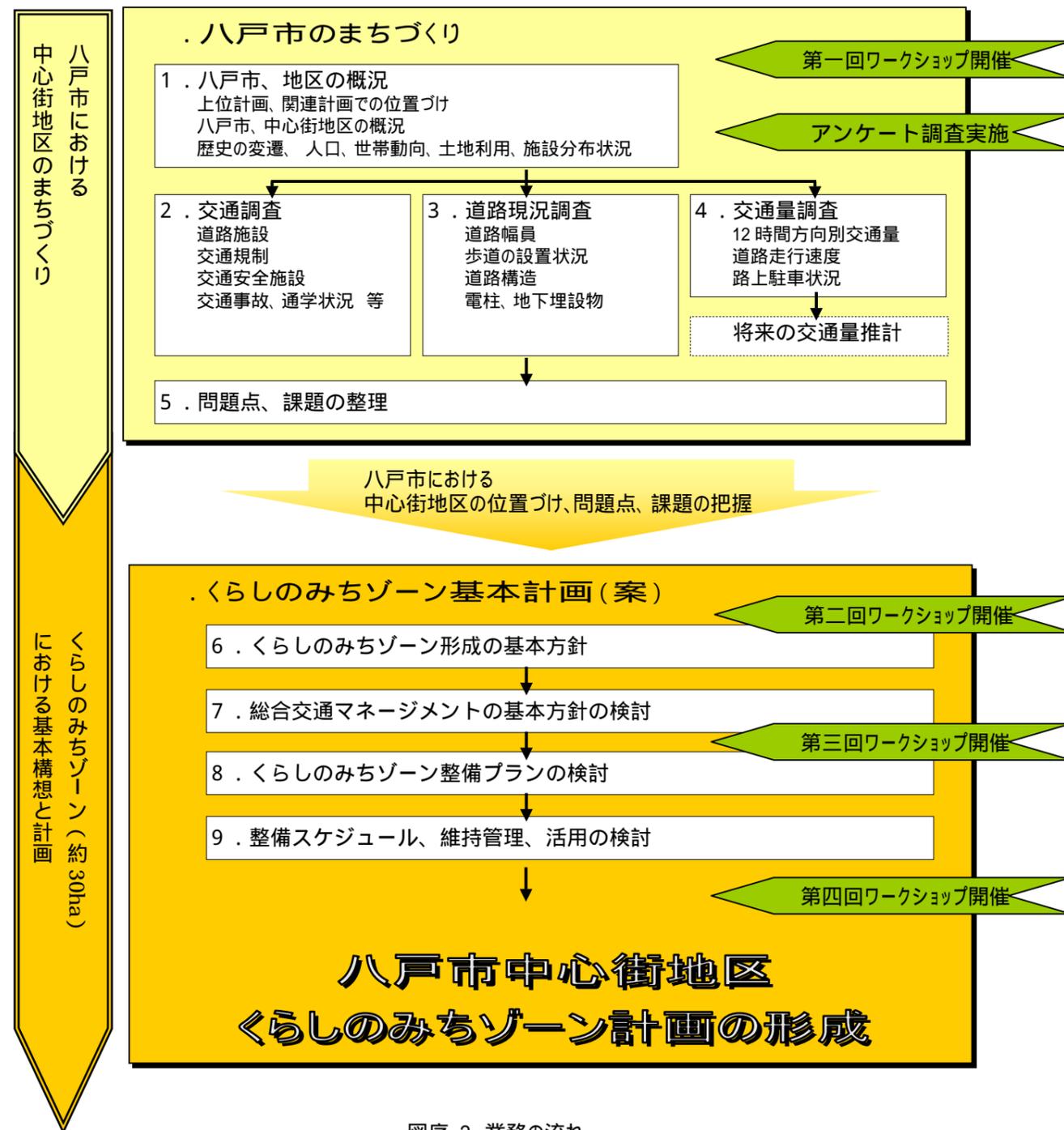
本業務は八戸市の商業・経済の中心となる、中心街地区(約30ha)を検討対象地区として設定する。



図序-1 検討対象地区

3. 業務の全体構成

本業務は以下に示すフロー図の通りを行う。また、住民参加の手法としてはワークショップを取り入れる。計画策定までに四回のワークショップを執り行い、住民の意見を計画に盛り込むとともに、工事完了後における住民の主体的な維持・管理活動の足がかりとする。



図序-2 業務の流れ

第1章 検討対象地区の概況

1. 検討対象地区の概況

(1) 八戸市と中心街地区の歴史

八戸市の中心街地区は江戸時代の寛永七年（1630年）頃に都市計画がなされたものと言われている。江戸時代後期には大小の商家が軒を並べていたが、大正十三年の大火で全域が焼失し、町の様子は大きく変化した。

現在の中心街地区で歴史が感じられる建物は、河内屋や山勝商店等少数に限られるが、町名、横丁名は今も昔の名残を残している。

- 江戸時代の名残を残す町名
- 歴史を感じる建物が保存されている



図 1-1 現在の八戸市中心街地区

町名の由来	
表通り	江戸時代商家の立並んだ御城下一の中心街
裏通り	表通りの商家に関連する職人や多様な商人で構成された町
馬場町	武士の馬術練習の為の馬場があったことから馬場町と呼ばれている
番町	番士と呼ばれる中級の武士の屋敷があったことから番町と呼ばれている。
ヤグラ横丁	江戸時代に御城下でただ1ヶ所この町内に火の見櫓が設置されていることから、櫓の横の町という意味で、町名となった。
寺横町	天聖寺の東隣に位置する為に寺横町と呼ばれている。
長横町	お城の大手筋を防衛する武士の町で、通常町内の倍の長さを持つ町内であったため、長横町と呼ばれている。
大工町/下大工町	大工職人の住んだ町を意味する。
鷹匠小路 (ロー丁)	殿様が鷹狩をする際に従事した鷹匠の人々が住んでいた町を意味する。別名のロー丁はかつて牢屋が置かれていたことから付けられた。
武士町名	乗馬騎士の武士とは反対に、徒歩の身分の武士が住んだ本徒士町・徒士町・上徒士町や、町足軽の住む組町の町組町、御城下の上下を防衛する為の足軽組町の上組町・下組町、自分の屋敷を持つことが許された常番組の武士の住んだ常番町など、かつての城下町を構成する町名も数々残されている。また、岩泉という武士が屋敷を構えたことから岩泉町、鳥屋部という武士の鳥屋部町という町名も発生している。
建物の歴史	
河内屋	大正13年の大火で市の中心部が焼失。合名会社河内屋本店もこの時被災した。営業再開のため、いち早く建てられたのが現在保存建築物として有形文化財に登録されたアールデコ調の洋館である。昭和初期の建築様式を伝えている。
山勝商店	明治から昭和にかけて、八戸の商家建築や町並みの様子を伝える数少ない建物の一つ。中心街は山勝商店のような形式の建物が大小混在しながら、軒を並べていた。

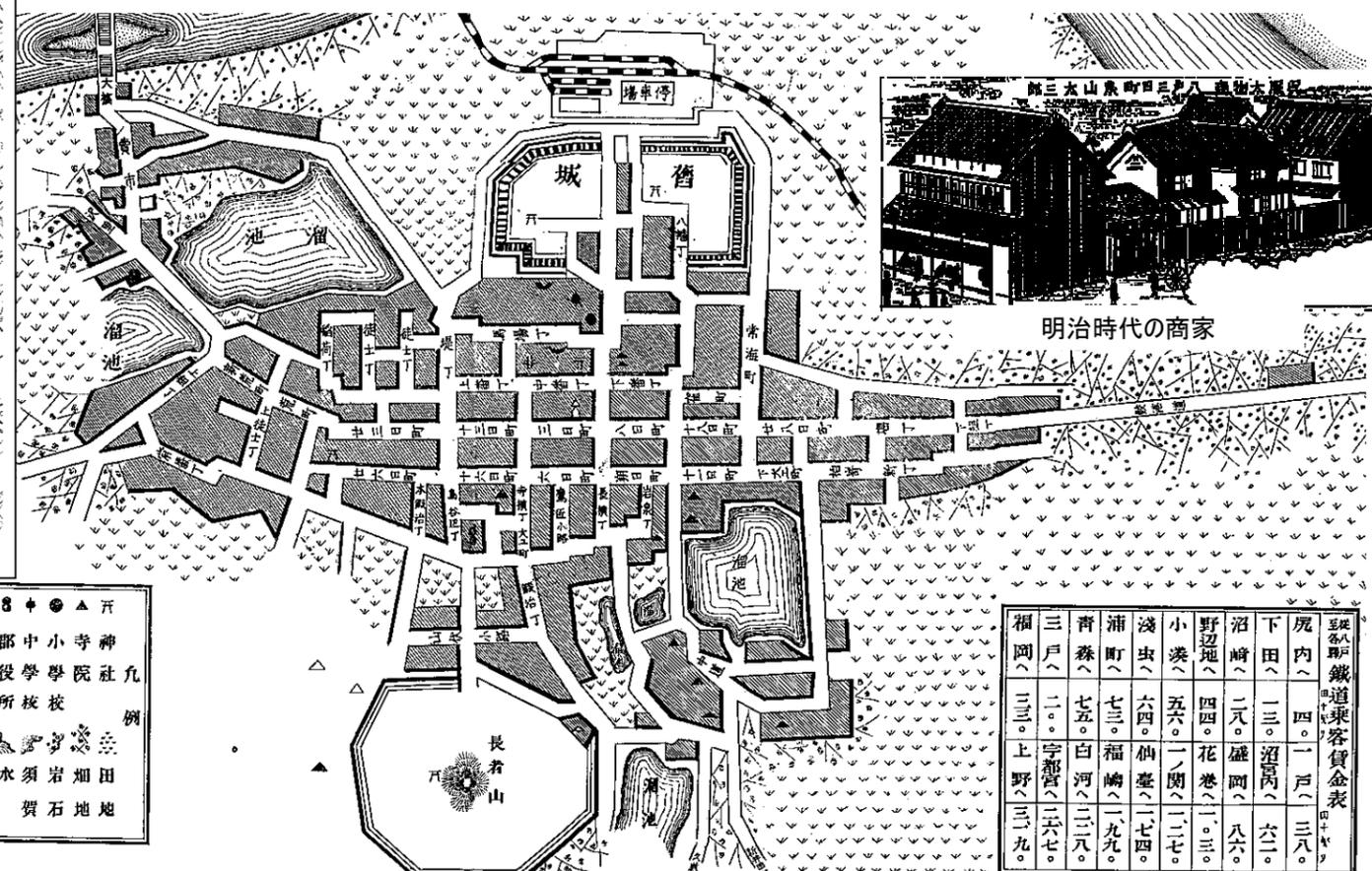


図 1-2 明治十七年の八戸市中心部地図

▲ 神社	● 小学校	○ 中学校	□ 警察署	△ 役所	◇ 監獄	▽ 郵便局	▽ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 寺	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○ 役所	○ 監獄	○ 郵便局	○ 鉄道線
○ 神社	○ 小学校	○ 中学校	○ 警察署	○			

第2章 対象地区の課題と整備の方向性

1. 「くらしのみちゾーン」の課題

① 人口 世帯構成の観点からの課題

- 高齢者が安全・快適に過ごせる地区づくりが必要である
- 中心街に人を呼び戻すための取組みが必要である

② 道路交通の観点からの課題

【歩行空間の課題】

- 安全で快適な歩道の確保が必要である
- 歩道の整備・補修など、歩行者の安全確保のためのハード面の整備が必要である
- 犯罪防止のためのハード面・ソフト面の整備が必要である

【自動車交通の課題】

- 交通事故防止のためのハード面・ソフト面の整備が必要である
- 歩行者と自動車の動線を考慮した地区内交通の適切なマネジメントが必要である
- 停車帯の設置、駐車禁止の徹底などによる駐停車の位置や時間を適正化する必要がある

③ 地域産業の観点からの課題

- 好調なスポットを維持した上で、他のスポットにも波及させていく必要がある
- 企業家が活躍できる土台づくりが必要である
- イベントを定着させ、イベント時の人出を定着させる必要がある
- 地区の商業の活性化が必要である

④ 土地利用の観点からの課題

- 公園緑地、オープンスペースなど人が集える空間の整備が必要である
- 拠点同士の移動軸の強化、連続性・回遊性をもたせる必要がある
- 低・未利用地の高度利用をはかる必要がある
- 指定路線のセットバックを推進し、公共のスペースとして有効に活用する必要がある

⑤ 歴史の観点からの課題

- 城下町の名残を保存し、未来に伝える必要がある
- 史跡や足跡を内外にアピールし、八戸らしい景観形成の核として活用していく必要がある

⑥ 景観の観点からの課題

- 平素にも祭りの賑わいや彩りが漂う景観づくりを行う必要がある
- 広告物のデザインの工夫、電線・電柱の地中化などによる統一感のある景観づくりが必要である

2. 「くらしのみちゾーン」整備の方向性

まちの基盤

すべての人が安心して快適に暮らせるまちへ

～ 子供からお年寄り、来訪者にも歩きやすく、安全で安心なまち・地区づくり～

八戸市の玄関口として来訪者や地区住民の高齢化に対応し、すべての人にとって歩きやすいみちづくりを基本として、犯罪や事故がない、安心して暮らせるまち・地区づくりを目指す

まちの発展

昼夜を問わず人が集い誰もが楽しめるまちへ

～ 地区の魅力のアピールに力をいれて、人が集う楽しいまち・地区づくり～

人口の減少、経済の衰退に終止符を打つには、まず、人が集まるまちづくりが必要である。地区内の景観要素や集客要素となる魅力的なスポットをフル稼働させ、多様化する来訪者の要求に応えられる、いつ来ても楽しい「八戸市民の溜まり場」のようなまち・地区づくりを目指す。

まちの継続

八戸にしかない魅力に溢れみんなに愛されるまちへ

～ 地区の歴史を今に伝え郷愁を誘い、にぎやかさを残し温かみ溢れるまち・地区づくり～

一歩路地に足を踏み入れると、奥へ奥へと吸い込まれていく。そんな懐のふかさが八戸にはある。市日（いちび）名や代々受け継がれてきた祭りの文化を今に伝え、「八戸らしさ」守り育て、八戸の住民、八戸出身の人、八戸に立ち寄った人の心をとらえて離さないまち・地区づくりを目指す。

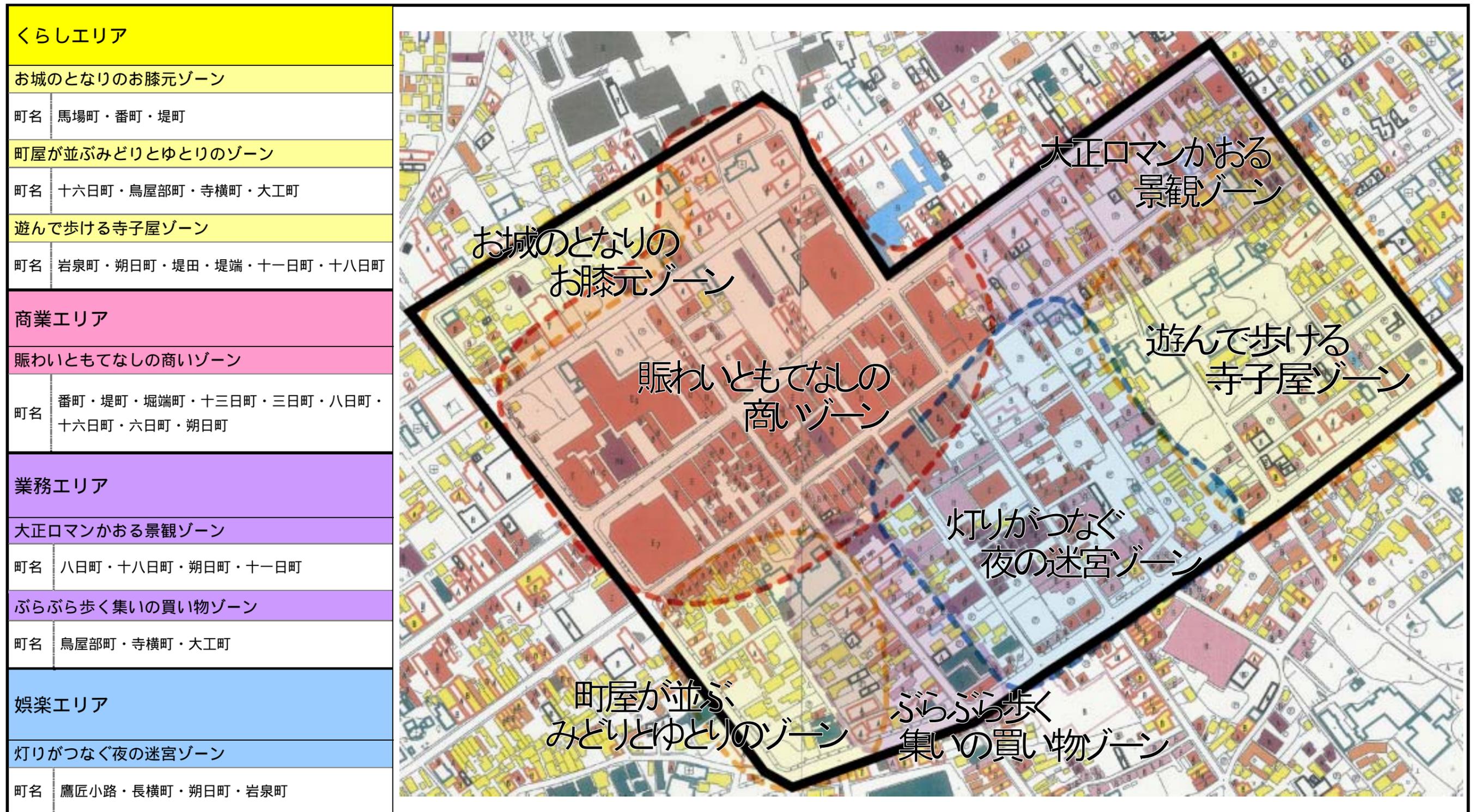
安全安心に暮らせて、昼夜を問わず人が集い、魅力に溢れるまち、いつ来ても受け入れてくれるまち

いつでもおんでやあんせ はちのへ

「おんでやあんせ」：いらっしやいを意味する土地の言葉である。いつでもどんな人にも門戸を開き、訪れる人を受け入れるまち・地区づくりを行う。

3. 検討対象地区のゾーニング

検討対象地区を以下のようにゾーニングし、ゾーンについて今後の整備の方向性を検討する。



4. 路線の機能と整備イメージ

これまでの整備方針の検討を踏まえ、検討対象路線の機能と整備イメージを以下のように設定する。

○道路機能と整備イメージ

1 くらしとともに歩むみち

道路機能

生活に密着し、日々の生活を支える路線である。移動機能・滞留機能を持つが幅員が狭い路線が多いため、基本的に歩く人が主役であり、必要交通以外の流入は認めない。

整備イメージ

地域住民と一体となって交通量の少ない夜間の治安向上や沿道の緑化に努め、生活に潤いをもたらすみちを目指す。その上でゾーンの特徴をとらえた沿道の整備と美化を目指す。

2 楽しみながら練り歩くみち

道路機能

飲食店や商店に立ち寄りながら、仲間と一緒に練り歩く路線である。公共交通以外の大型車は排除し、業務を支える為の必要最低限の自動車交通を担う。

整備イメージ

沿道の商店・飲食店は店舗の一部を開放しみちと一体となっていつでも気軽に立ち寄れる雰囲気作りを努め、人が絶えないみちを目指す。また、仲間と数人で並んで買い物をしたり、千鳥足で歩いても安心できるみちづくりを行う。

3 商いを支える賑わいのみち

道路機能

人が集い滞在し、賑わう路線である。同時に、商業の中心として物資や公共交通の流通のため必要な自動車交通の循環を担うみちである。このため、車道・歩道双方の幅員を確保し歩車を明確に分離する。

整備イメージ

沿道の商店街や自動車と協力し、賑わいと集いのスペースを創出するとともに、デザインの統一化をはかったみちを目指す。景観ゾーンにおいては沿道建物のデザインの統一や色合いに配慮したみちづくりを行う。

4 まちの動脈となるみち

道路機能

「くらしのみちゾーン」の外周を走る交通容量が大きい路線である。ゾーン内の通過交通を誘導し、広域的な自動車交通を支える役割を持つ。このため歩車分離を基本として交差点付近の事故防止など安全対策を徹底する。

整備イメージ

外部から自動車で訪れる人の玄関口ともなることから、住民と協働による街路樹の管理や植栽など美化を心がけ、八戸の顔となるみちを目指す。

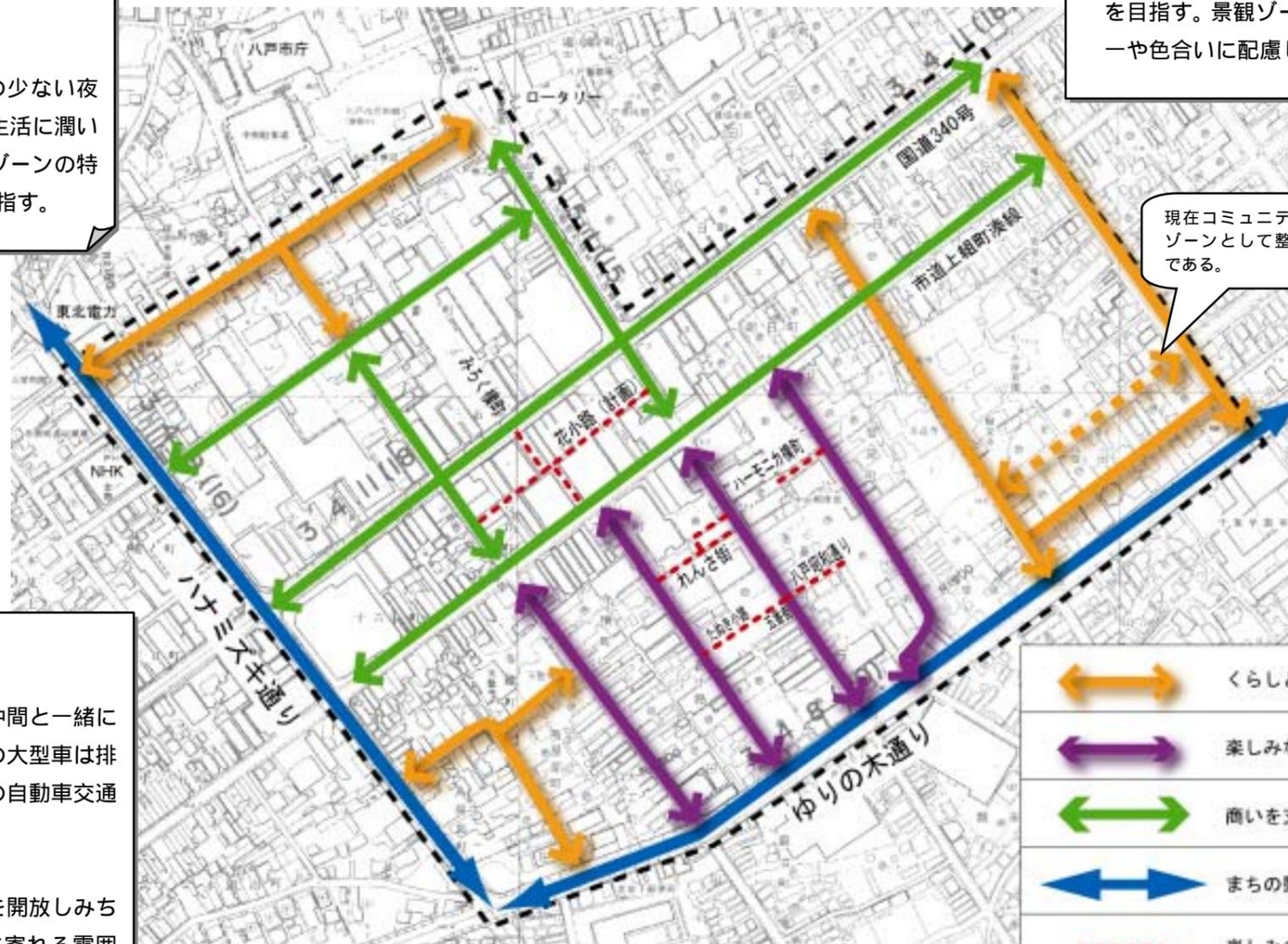
5 楽しみのおみち

道路機能

歩行者のための小路や路地・横町であり、自動車交通は流入しない。

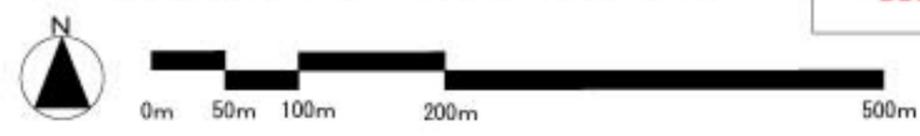
整備イメージ

沿道の店舗に協力を呼びかけて夜の魅力を残したみちの美化のため、昼間でも通りやすいみちを目指す。



現在コミュニティゾーンとして整備中である。

	くらしとともに歩むみち
	楽しみながら練り歩くみち
	商いを支える賑わいのみち
	まちの動脈となるみち
	楽しみのおみち



次に、まちの個性や魅力のもととなり、愛着を生み出す要素として「景観」「緑化」「小路・横町」の整備方針を以下に示す。

○まちの個性と愛着を生む道路の整備イメージ

ぶらぶら歩くみち・横町

買い物ゾーン、迷宮ゾーン、商いゾーンの広い範囲にわたり沿道に飲食店や娯楽施設が立ち、横町や小路が広がっている。それらの路線及び小路はぶらぶら歩く道として位置付け、商店や飲食店はふらっと立ち寄りやすい店構えにして、道と一体となった親しみやすさを演出する。

八戸らしい景観のみち・スポット

景観ゾーンを中心に歴史を感じる建物が点在し景観要素となっている。大正ロマン、山勝商店、番屋などの建築を軸として八戸の景観の核となるみちづくりを目指す。

統一感のある景観のみち

商いエリアの沿道を中心に色とりどりの広告や看板が乱立しており、統一感のない落ち着いたない景観を呈している。看板のデザインや色彩に統一感をもたせ、歩いて落ち着く統一感のある景観のみちづくりを目指す。

緑でうるおうみち・エリア

公共施設や寺院のエリア、生活ゾーン、幹線沿いを中心として街路樹や植木が整備されている。幹線道路には来訪者を目から癒し、歓迎する意味をこめて、生活ゾーンには生活に緑をもたらし、緑でうるおうみちづくりを目指す。

